

田中復興大臣記者会見録

(令和元年9月19日(木) 15:46～15:55

於) 田村市役所304会議室)

1. 発言要旨

昨日、9月18日、いわき市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、南相馬市、本日は、新地町、相馬市、飯舘村、川俣町、葛尾村、川内村、田村市の市町村長さんや議長さんにお目にかかって御挨拶を申し上げ、意見交換をさせていただきました。また、多くの御要望を頂戴いたしました。

特定復興再生拠点の整備を含めた住民の生活環境の整備や、産業・生業の再生について、引き続き支援をしてほしいとのお話、また、特定復興再生拠点区域外についても、見通しを示してほしいとの要望もございました。

さらに、福島復興を成しとげるための最大の障害が根強い風評被害である、風評払拭のために、国としても対応をしてほしいというお話がございました。

私どもとしましても、この2日間で15の市町村を訪問させていただき、地域ごとにさまざまな課題がある中で、復興に向けて取り組んでおられるお話を伺いました。

地元の課題や復興にかける思いをしっかりと受けとめ、被災者に寄り添いながら、一日も早い復興ができるように最善の努力をしたいと思っております。

また、今後のことについて、復興・創生期間も残り1年半となっております。被災地の御要望や実情を踏まえ、これまでに実施した復興施策の総括を行って、年内に復興・創生期間後の復興の基本方針を取りまとめてまいりたいとお話をしました。

福島の復興・再生には、やはり中長期的な対応が必要ですので、復興・創生期間後も国が前面に立って努力をしてまいりたいという思いもお話をしたところです。

いずれにしましても、各自治体にまいりますと、被災者の方々のお話は、いろいろな形での本当に深刻なことがございます。

私どもも、それぞれの皆様方の状況に応じて、誠心誠意、国が対応できるように、復興庁をリードしながら新しい大臣としてその役に当たってまいりたいと思っております。

報道機関の皆様におかれましても、これから大変お世話になることばかりかと思っておりますけれど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 質疑応答

(問) 2日間の総括的なお話をいただきましたけれども、福島、被災地の要望というか、声として特に強く感じたことはどんなことだったのでしょうか。

(答) 一番感じたのは、復興道半ばということでございます。これは、もちろん自治体によって差異はあるにしても、そういう思いを強くしたというのが実感でした。

(問) 本日、東京電力の旧経営陣が、原発事故をめぐって業務上過失致死罪で強制起訴された裁判の判決が東京地裁で言い渡され、無罪判決が出ました。

原発事故からの復興を担う官庁としての大臣の具体的な受けとめと、東電にこれから求めていくようなことは何かありますでしょうか。

(答) 各自治体を御挨拶に回る途中の話でしたので、私は判決のことについては、わずかに聞いておりますけれども、あまりにも内容が深い話でありますし、個別の訴訟案件でもございますので、私の立場からはコメントは差し控えさせていただきたいと思っております。

(問) 原発事故からの復興を担われている官庁なのですが、東電との向き合い方で、今後何か求めていかれるようなことはありますでしょうか。

(答) 訴訟とは関係なく、東電は、もちろん国とともに責任をきちんと果たしていかなければならないわけですが、訴訟案件については、今日の今日の話ですので、申しわけございません、コメントを差し控えさせていただきたいと思っております。

(問) 先日、県知事を表敬なさったときに、私は同じ質問をさせていただいたのですが、田村市からも区域外避難ということで、県外に避難している方が今でもいらっしゃいます。

その方たちも含めて、今の住まいを退去してほしいということで、福島県が法的手段に出ようということで今、話が進んでいます。

それに関して、私は県が県民を訴えるなどということはやってはいけないと思うのですが、大臣はそれはやむなしとお考えになるのか、何か別の方策を模索すべきだとお考えになるのか、それはどちらでしょうか。

(答) 福島県が一生懸命対応していただいていることに対しては、私たちも一生懸命支援をする、サポートしてきておるところです。

ただ、私もこれから議会で一部の訴訟案件も含めて議論される、結論を出されると伺っております、この件については、申しわけございませんけれど、私の立場からは発言を差し控えさせていただければと思っております。

(問) 発言を差し控えられる理由がよくわからないのですが。

(答) 訴訟に関する発言は差し控えると言っただけでございまして、他のことについては、福島県が一生懸命取り組んでおられることに対して、私たち復興庁は責任を持って御協力させていただきたいと思っております。

(以 上)